

動き出す 創り出す

沼津市のこれからの 10 年間は、新たな都市骨格の具現化が進み、大きな変容に向けた躍動を感じる、変革の時期を迎えます。

県東部地域を牽引する都市として拠点性が高まり、結節点として人が交流することで新たな刺激が生まれることから、そのような機会も着実に捉えながら、都市の価値を高め、社会経済の発展に繋げていきます。

また、市民・民間事業者・行政が活発に行動し、ときには連携しながら、新たな取組に積極的にチャレンジすることで、まちが動いていく、そこから新たな雇用や産業、にぎわいを創り出し、まちに活力を与えていく、時代の先を見据えて既存の仕組みの見直しや先端技術を導入していくなどの取組が必要です。

これまでのまちづくりの動きを加速し、活力ある沼津の創造を目指します。

誇り と つながり

沼津には温暖な気候や豊かな自然、恵まれた食、皇室にゆかりのある沼津御用邸記念公園や奥深い歴史・文化など、宝といえる地域資源が数多くあります。また、沼津の人の穏やかで温かい気質も、これらの地域資源と相まって多くの来訪者を惹きつける魅力ともなっています。

私たち一人ひとりが、市民としての意識を高く持って、まちを知り、まちづくりに積極的に関わる。また、身の回りの物事を受け身でなく自分事として捉える。そのことによって身近な地域活動やコミュニティ活動が盛んになり、市民同士や、市民と地域、市民と行政などのコミュニケーションが深まっていく。そして、そのことが発展の原動力として地域の魅力を更に高め、未来を担う人を育てていく。このようなまちこそが、真に誇り高いまちと考えます。

心も体も元気で健康

市民がいきいきと暮らし、活動することが沼津の元気につながります。そのためには、市民の誰もが健康で、人生 100 年時代を心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。

スポーツを通じて無理なく楽しみながら継続できる健康づくり、性別を問わず子どもから高齢者まで、誰もが元気にいきいきと活動できる機会や居場所づくり、趣味や家族の時間を楽しみ、自己実現を目指す姿勢などを支援・推進するとともに、豊かな沼津の自然を享受し、安全・安心な生活を楽しむことができる、誰もが社会の一員として参加できる協働のまちづくりを進めます。

第5章 まちづくりの柱

本市が目指す将来都市像「人・まち・自然が調和し、躍動するまち ～誇り高い沼津を目指して～」を実現するため、各分野で進めるまちづくりの方向性として、以下の8つのまちづくりの柱に基づき施策を推進します。

まちづくりの柱 1 自分らしいライフスタイルを実現できるまち

今後更に加速が予想される少子高齢化、人口減少の時代にあっても、地域の営みや市民の生活が充実していく、持続可能な社会を築いていかななくてはなりません。

このまちに住みたい、住み続けたい、訪れたいと思わせる魅力ある沼津を目指すため、地域性豊かで多様性を認め合うぬくもりを感じるまちづくり、自分の居場所、自分らしい暮らしを見出し、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

① 誰もがいきいきと輝き躍動できる場づくり

「沼津を愛し、誇りを持ち、自分自身が関わってまちを変えていく」というシビックプライドを醸成するとともに、相互理解のもと、誰もが社会の一員として参画できる協働のまちづくりを推進します。また、誰もが自分らしく活躍できるまちを目指し、より一層の社会進出が期待される女性や高齢者の活躍や、まちづくりに意欲のある市民のチャレンジを支援します。

② 多様性を認め合い尊重するまちづくり

地域に暮らす全ての人が、国籍、年齢、性別、障害の有無、価値観や文化の違いなどにかかわらず、お互いの人権を尊重し、個性を認め合いながら、安心してともに暮らすことができるよう、男女共同参画や多様な性の在り方に対する理解、多文化共生や国際交流などを推進し、差別なく一人ひとりを大切にする共生社会の実現を図ります。また、仕事と家庭が充実し、健康で心豊かに暮らせるよう、ワークライフバランスの実現や働き方改革の推進を図ります。

③ 社会のつながりやコミュニティの強化

地域に根差した活力あるコミュニティの維持を図るため、各コミュニティにおける世代間の交流やネットワークの構築、新たな活動などを支援するとともに、地域住民の交流拠点である地区センターの機能の充実を図ります。また、精神的な豊かさや生活の質の向上が求められる成熟社会に対応するため、多種多様なつながりや社会活動への支援に努めます。

④ 市民の目線に立ったまちづくり

社会の潮流や高度化・多様化する市民ニーズを的確に捉え、効果的で計画的な政策の推進に努めるとともに、広域生活圈を意識した近隣市町との連携や、公共施設の最適化・有効活用など、効率的な市政運営に努めます。また、市民へ開かれた市政を推進するために、情報公開の推進や官民データの活用などを図るとともに、新たな情報技術の活用等による市民の利便性向上に努めます。

まちづくりの柱 5 安心して子どもを産み育てられるまち

未来を担う子どもたちは我が国の宝であり、皆で大切に見守り、育てて行かなければなりません。そのため、出会い、結婚、妊娠、出産から子育てまでを切れ目なく支援し、子育てしやすいまちを目指すとともに、子どもたちが地域において健やかに成長し、あらゆる分野で活躍できる、そして地域を支える意欲のある市民となれるよう、地域総がかりでの育みやまちづくりを推進します。

① 安心して産み育てるための支援

市民がいきいきと輝き、活力と思いやりのあるまちづくりを進めるために、出会い、結婚、妊娠、出産を望む市民の希望がかなうよう、支援の充実を図ります。また、産前産後のケアや母子保健の充実、多様な悩みを抱える子どもや保護者の様々な交流の場の創出などの支援に努め、孤立化した子育てを防ぎ、子育て世代の不安や負担の軽減を図ります。

② 仕事と子育ての両立支援

安心して働きながら子育てができるよう、保育所等の待機児童の解消や、共働き家庭等のニーズも踏まえた多様な子育てサービス等の充実を図ります。また、放課後児童クラブや子育て支援センターなどをはじめとする子どもが安心して過ごすことのできる場の充実に努めます。

③ みんなで支える子育て

少子化や家族形態の多様化、国際化などが進むなか、職場における子育てに対する理解や職場環境の改善の促進を図るとともに、地域における子育て支援や子どもの見守り活動などの推進に努めます。また、全ての子どもが夢と希望をもって健やかに成長できるよう、関係機関と連携しながら、相談支援体制を充実させ、子どもの貧困や虐待への対策を図ります。

④ 未来を担う人材の育成

変化の激しい時代を生きる子どもたちが、確かな知性、知力を身に付けられるよう、ICTの活用を始めとする未来を見据えた特色ある学校教育を推進するとともに、学校規模・学校配置の適正化を図り、より良い教育環境の整備と質の高い教育を推進します。また、豊かな人間性や健康な心身を育むため、家庭教育、幼児教育及び学校教育の連携を促進するとともに充実に努めます。

⑤ 地域を支える人づくり

時代の変化に伴うライフスタイルの多様化なども踏まえながら、青少年が社会や地域との関わりを深める取組を推進し、青少年の自立性や社会性を育むとともに地元愛の醸成を図ります。また、誰もが生涯にわたって学び続けることができるよう、学習の機会の提供や自主的な学習環境の充実を図るなど、地域に貢献できる人材の育成に地域総がかりで取り組みます。